

亀山市子ども読書活動推進計画 ～学校図書館からの発信～

平成21年4月 亀山市教育委員会

これまでの取組 「子ども読書活動推進計画」の推進

園・小・中学校

- 全園・学校における「読書タイム」実施
- 図書館司書教諭や担当教諭・保育士等の読み聞かせスキルアップ
- 図書便りやインターネットによる読書意識の高揚
- サポーター（5校）やボランティアによる読み聞かせ・ブックトーク
- 授業における学校図書館の利用促進
- 市立図書館の団体貸し出し利用促進及び連携強化
- 園開放や子育てサロンにおける絵本に親しむ活動
- 学校図書館の地域開放
- 本の寄贈の促進 等

地域

市立図書館

- 推薦図書の紹介・選定図書のアドバイス
- 学校への団体貸し出しの支援

子育て支援室

- ブックスタート事業の充実等

学童・児童センター

- 読書活動メニューの追加
- 推薦図書の環境整備等

これまでの取組をさらに
継続・発展・充実

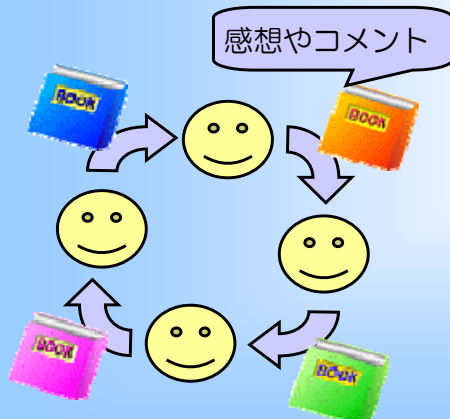
- 学校図書館データベース化による図書館環境整備(22年度以降計画)
- 学校図書館の地域開放と推薦図書の環境整備（充実）
- ファミリー読書リレー文庫の創設（新規）

学校を中核とした「子ども読書の街づくり」（国）
「学校図書館支援事業」（市）

「ファミリー読書リレーによる読書活動の推進」「学校図書館協力員の配置」

学校図書館協力員を活用し、学校図書館の充実を。

「借りる人と貸す人の関係」から「本を借りた人同士が読書を通じて交流する関係」へ



【事業のイメージ】

- 市内約250家族が毎週5～10冊の本を受け取り、読んで、感想やコメントをつけて次の家族へ、そしてまた新しい本を…
- 1冊の本が、約250家族＝数百人の手をリレーする。
- 図書館協力員を活用し、子どもたちが通いたくなるような“人”がいる温かい学校図書館づくりを行う。